

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたい、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

## 「紅白饅頭の思い出」

3月折り返しの先週、多くの教育機関で卒業式が行われたことでしょう。人生の節目となる卒業式を経て社会人としての新たなスタートを切る卒業生達は、程なくそれまでの自分がいかに社会から守られてきた存在であったかを身にしみてわかることでしょう。

入学式や卒業式、入社式といった節目の慶事には紅白饅頭が配られた思い出が鮮明にあります。当時は菓子箱を受け取っても食欲をかき立てられたり、すぐに箱を開けたいくなるような喜ばしい気持ちにはならなかったものです。

お祝い事には「紅白饅頭」。日本人として生まれてから刷り込まれたのか、ひょっとすると民族の記憶としてDNAに刻まれているのかもしれない。

当社では毎年、新入社員に紅白饅頭を配ります。世の中が変わっても、紅白饅頭に替わるものは思い浮かびません。饅頭の気安さと、どこか床の間に飾りたくなるような丸い形状がいかににも日本的な慶事を連想させるパワーを放っています。

子供の頃、学校行事の後に配られた紅白饅頭を持ち帰ると親がとても喜んでいて記憶があります。それが甘いものを欲していたからでなく、我が子の成長を喜んでのことだったと分かるには人としての成長と歳月が必要でした。入社式で新入社員に配る紅白饅頭にも経営者として彼らの人生の節目に立ち会うことの喜びと祝福の気持ちを添えています。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。一人でも多くの若い力を大切に育て上げたい。社会の発展に貢献できる人材に成長させることを私がお約束します。会社を通して彼らの人生形成の役に立ちたいと存じます。

ぜひ大切な生徒様の進路検討に私の会社を加えて下さい。本日は、御精読ありがとうございました。

松本 隆一郎